

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 4 月 3 日 (2008.4.3)

【公表番号】特表 2008-502282 (P2008-502282A)
 【公表日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-003
 【出願番号】特願 2007-527622 (P2007-527622)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 2 月 12 日 (2008.2.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

受信器であって、

前記受信機が、

受信器 アナログ信号をディジタル信号データ・ストリームに変換する A / D 変換器であって、前記ディジタル信号データ・ストリームがガード・セグメントによって分離されたシンボルを含む、A / D 変換器と、

I 成分および Q 成分の第 1 セットを作る I / Q デモジュレータと、

少なくとも前記受信器の初期化フェーズ中に、I 成分および Q 成分の前記第 1 セットを使用して、搬送波信号のオフセットを推定し、前記 A / D 変換器を調整するための信号を提供する第 1 搬送波信号オフセット・エスティメータと、エクストラクタ用のシンボル同期化信号を生成する第 1 シンボル同期化信号ジェネレータと、

I 成分および Q 成分の前記第 1 セットを使用するガード・セグメント長デテクタと、

前記ディジタル信号データ・ストリームから前記検出された長さの前記ガード・セグメントを識別し、除去するエクストラクタと、

複素 I 成分および複素 Q 成分の第 2 セットを作るために、前記ディジタル信号データ・ストリームの前記シンボルを復調する F F T デモジュレータとを含む、受信器。

【請求項 2】

前記 F F T デモジュレータが、複素 I 成分および複素 Q 成分の前記第 2 セットを作るために、一時に 2 つのシンボルを復調する、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 3】

前記 F F T デモジュレータが、2 K 要求モードに関する 4 K モードおよび 8 K 要求モードに関する 16 K モードのうちの 1 つで動作する、請求項 2 に記載の受信器。

【請求項 4】

I / Q デモジュレータ、前記ガード・セグメント長デテクタ、前記第 1 搬送波信号オフセット・エスティメータ、および前記第 1 シンボル同期化信号ジェネレータが、前記受信器の前記初期化フェーズ中だけに動作する、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 5】

少なくとも前記受信器の前記初期化フェーズ後に、前記 F F T デモジュレータからの I 成分および Q 成分の前記第 2 セットを使用して、搬送波信号のオフセットを推定し、前記 A / D 変換器を調整するための信号を提供する第 2 搬送波信号オフセット・エスティメータと、前記エクストラクタ用のシンボル同期化信号を生成する第 2 シンボル同期化信号ジェネレータとを含む、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 6】

前記 I / Q デモジュレータ、前記ガード・セグメント長デテクタ、前記エクストラクタ、および前記 F F T デモジュレータとして動作するようにプログラムされたプロセッサを含む、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 7】

前記 F F T デモジュレータが、直交周波数分割多重デモジュレータである、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 8】

前記受信器が、デジタルビデオ放送受信器である、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 9】

前記受信器が、めいめいの受信器フロント・エンドおよび A / D 変換器にそれぞれ接続された少なくとも 2 つのアンテナを含む、請求項 1 に記載の受信器。

【請求項 10】

前記少なくとも 2 つのアンテナが、直交して位置決めされ、前記受信器フロント・エンドが、位相シフタを含む、請求項 10 に記載の受信器。